記者発表資料

平成２４年１１月６日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第一部会第２回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の第一部会第２回定例会議は、９月２５日（火）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市青葉区二日町９番１５号　　TEL (022)225-2171（代表）

主 任 監 査 官　熊谷（くまがい） 伊佐男（いさお）（内線２１１４）
入札契約監査官　鈴木（すずき） 和弘（かずひろ）（内線２２２０）
契 約 管 理 官　阿部（あべ） 幸太（こうた）（内線２２２２）
技術開発調整官　國松（くにまつ） 廣志（ひろし）（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所	平成２４年　９月２５日（火）　東北地方整備局　大会議室		
委員	部　会　長　京谷　孝史【(国)東北大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授】 部会長代理　熊谷　真宏【公認会計士・税理士】 委　　員　伊東　満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 委　　員　牛尾　陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】〔欠席〕		
審議対象期間	平成２４年　４月　１日　～　平成２４年　６月３０日		
審議案件	総件数　９件　（別紙－１ 審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札(政府調達)	１件	（備考） (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 について報告を行った。
工事	一般競争入札（政府調達以外）	４件	
工事	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－２のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－３のとおり		

様式ー1

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	仙台湾南部海岸中浜工区坂元地区第1復旧工事	一般土木工事	28	28	平成24年4月26日	戸田建設（株）	1,610,280	88.4	仙台

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	北上川上流吉内川排水樋門設備据付工事	機械設備工事	1	1	平成24年6月7日	飯田鉄工（株）	9,555	99.5	岩手
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	大浜渡橋外補強工事	鋼橋上部工事	11	10	平成24年6月28日	（株）東京鐵骨橋梁	354,480	86.3	三陸国道
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	東二番丁地区舗装修繕工事	セメント・コンクリート舗装工事	2	2	平成24年6月18日	世紀東急工業（株）	199,500	96.1	仙台
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	村山地区道路改良工事	一般土木工事	5	2	平成24年6月20日	渋谷建設（株）	205,800	99.0	山形

入札方式	工 事 名	工 事 種 別			契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
随意契約方式	銅山川流域肘折地区緊急対策工事	一般土木工事			平成24年6月14日	沼田建設（株）	85,628	99.9	新庄

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	郡山国道用地関係資料作成整理等業務	補償関係コンサルタント	3	3	平成24年4月6日	（特社）東北建設協会	10,605	79.2	郡山国道

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	子吉川水辺現地調査（両生類･爬虫類･哺乳類）業務	土木関係建設コンサルタント	12	11	平成24年4月13日	（株）自然科学調査事務所	3,969	52.7	秋田

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類		入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	車両管理業務委託	役務の提供等		2	平成24年4月2日	日本道路興運（株）	26,417	41.9	湯沢

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・９月６日に高知県内の談合のニュースが報じられたが。	・報道によれば、９月４日に公正取引委員会が建設事業者に対して、高知県内の国土交通省発注の直轄事業に関して、排除措置命令及び課徴金納付命令の前提となる事前通知を行ったとのことである。 本省では、外部有識者も参画した検討委員会を設置し、事実関係の調査、背景・原因の解明、再発防止対策の検討を行うこととしている。

２．審議	
１．仙台湾南部海岸中浜工区坂元地区第１復旧工事	
・競争参加資格確認表で、工事実績なしで１者「参加資格なし」となっているが、単なる書き漏らしなのか､それとも実績がないのか。	・提出された工事実績が、参加資格要件で求めた「海岸構造物工のうち堤防、高潮堤、突堤、護岸、離岸堤、緩傾斜護岸、消波堤、高潮・津波防波堤、人工リーフのいずれかの施工実績」に、該当しなかったので「参加資格なし」とした。
２．北上川上流吉内川排水樋門設備据付工事	
・昨年度当初､製作から据付までの一括の発注であったが、据付に要する時間が確保できないので別工事にしたとの説明だったが、その際の代金はどうしたのか。	・当初一括で発注したが、やむなく途中で打切竣工とした。据付部分は設計変更したうえで減額契約した。
・昨年度に引き続き入札を行ったということは、昨年度契約を締結した業者は、工事費の内訳等を承知しているということか 。	・昨年度の受注者は、自ら内訳書を作成したので当初の内訳を承知していることにはなるが、予定価格やその内訳書は公表の対象となっているので、当該業者だけが知り得るというものではない。
３．大浜渡橋外補強工事	
・入札調書を見ると、無効が６者と多い気がするが。	・入札参加資格のある１１者のうち、１者が不参加、入札書を提出したうち、入札金額が調査基準価格を下回った６者が無効となっている。 ６者は、施工体制の確認のため、追加資料の提出を求めたが、提出しない旨の申し出があったので、条件違反として無効とした。

意見・質問	説明・回答
・精度の高い積算ソフトが適切に運用されていれば、橋梁工事でも調査基準価格を下回ることは考えにくいが。 ・特殊な補強工事のようなものは、積算ソフトには組込まれていないかもしれない。	・積算ソフトとの関係については分からない。 　当局の積算は、物価調査会へ特別調査を依頼したうえで、単価設定を行っており、妥当な金額と考えている。業者の内訳書を比較してみると、鋼板巻立について価格差が見られた。
４　東二番丁地区舗装修繕工事	
・高強度ＲＣプレキャスト版を用いる工法とは特殊な工法なのか。 ・コリンズ検索では、１８者が申請書提出可能となってるが、実際は２者のみと少ない。	・高強度ＲＣプレキャスト版は、工場で製作できるもので特段特殊なものではない。 　供用中の道路において確実な対策効果と恒久性を有している工法ということで採用した。 ・技術資料の提出可能業者数の目標を２０者程度としており、本案件は１８者が提出可能なので厳しい参加資格ではないと考える。 　当該工事区間は、１日の交通量が６万台と多く、また多車線で行う夜間工事で、交差点での作業であり交通規制における安全の確保について、通常の工事に比べて配慮することが多く敬遠されたのではないかと推測される。
５　村山地区道路改良工事	
・　参加資格要件に関してだが、この案件に限らず平成８年とか９年以降の、同種の工事の実績が必要となっている。 　実績がなければ、安定した工事はできないということに発注者側としては合意性があるのかもしれないが、 他方で新規参入を促すうえでは、余り厳しく実績を求めてしまうと、意欲のある業者の参加資格は永久に得られない事態も生じてくるのでは。 ・公共工事の品質保証を確保する目的で業者の施工実績を求めてしまうと、それとは裏腹に新規参入を阻害してしまうことになり、折り合いの程度は如何か。	・仮に真空圧密工法に絞った場合は実績を持っている業者が少なく競争性が確保できないので、置換工法、浅層混合工法、軽量盛土工法を除く軟弱地盤対策工法は実績として認めることとし、参加要件を広げるよう努力している。 ・昔は直轄工事の実績を求めていたが、今は県や市町村での実績でも良いとしている。 　この案件に限らず、要件については少し広めの類似工法等を認めるなどできるだけ新規参入を促している。 　一方で公共事業はこの１０年間で４割程度減少しているが業者はそれ程減っていない。

意見・質問	説明・回答
・新会社を設立し会社としての実績はないが、技術者が同種の工事の実績を持っている場合においても、実績は認められないのか。	・新設された会社が、他の実績のある会社を合併及び吸収したものであれば、それまでの実績が認められる。 ただし、技術者については直接的かつ恒常的な雇用関係が必要である。
・入札参加者が２者で、１者は予定価格を上回り、落札業者の落札率９９．０％。 予定価格を上回っている業者との、入札価格の差も４百万円程度である。 事務所はどのように対応しているのか。	・事務所において、入札に参加した者２者それぞれから提出のあった積算内訳書を検証した。その結果、 〇本工事の歩掛りは、特殊工法である真空圧密工以外は公表されている。 〇真空圧密工の歩掛りについても、当方で現場説明事項書に真空圧密技術協会の見積を採用している旨を記載している。 〇故に、入札した２者は、公表されている歩掛りと真空圧密技術協会の見積を徴取すれば、積算単価に近い積算が可能である。 等の判断をした。 不参加者が３者と多かったことについては、他の工事案件と技術者が重複しており、最終的には良い条件の工事に絞り込んだのではないかと推測される。 事務所としては、本局に対して、「特に不自然性はなく、入札手続き続行が可能である」との所見を付したうえで報告を行い、本局でも、執行可能との結論が得られたので、契約締結に至ったものである。
６　銅山川流域肘折地区緊急対策工事	
・銅山川流域の地域は、元々このような崩壊が想定される地域なのか。	・この流域は過去にも崩壊、地滑りなど土砂災害の発生はあったが、当該箇所で発生することは想定していなかった。
・崩壊などに対する対策を施す前に、こういう災害が発生してしまい、随契による発注に至ったという理解で良いか。	・この肘折カルデラは、元々火山火口のシラスが堆積し、至る所で土砂が流れやすい。 下流に対しては、砂防堰堤で今の状態でも災害を防ぐことができる。 しかし、今回の箇所で、崩壊によって土砂ダムとなり、上流に湛水することは今まで想定していなかった。 そういう意味で新しい災害に対する対応となる。
・仮排水路を利用して流してるが、いずれ土砂を除去して、大きな流れを回復する工事も考えられるのか。	・県で施工した仮排水路はあくまで応急対策。 地滑り自体がまだ不安定なため、その状況も調査中である。 今後崩れた土砂をコントロールすることができれば、河道断面を拡幅したうえで仮排水路は撤去する。

意見・質問	説明・回答
７．郡山国道用地関係資料作成整理等業務	
・国土交通省のＯＢの人数と役職は。 東北建設協会は一般社団法人に移行されるのか。	・国土交通省のＯＢは４名。うち２名が常勤で役職は理事長と専務理事。 　その方向で移行されると聞いている。
・入札調書を見ると、技術点が付与されている他の１者より、東北建設協会の方が技術点が高い。この社団法人だけが独占的に優位な立場に立ち続けると懸念されるが、どう考えるか。	・東北建設協会も発注者支援業務等から撤退する方向で検討していると聞いている。
・この業務はほぼ１年間の履行期間で１２百万円だが、どのようにして予定価格を算定したのか。	・公表されている労務単価に、稼働日数を乗じて算出している。
・この業務は、職員の不足を補うような形で、広範囲に及ぶありとあらゆる業務を行うように解釈できるが、特定の一人がこの業務を行うのか、それとも様々な人が行うのか。	・まずある１箇所で業務を行い、そこが完了すれば他の箇所に移動する。事前の準備もあるが、同時に２箇所に行くということは想定していない。
・郡山国道の職員と同行するということを基本にしているのか。	・用地協議等の場合は同行するが､それ以外の場合は、必ずしも同行するわけではない。
８．子吉川水辺現地調査（両生類・爬虫類・哺乳類）業務	
・入札価格を大幅に下回っているが、予定価格そのものがオーバーな価格だったのか。	・積算は人件費が大部分を占めているが、歩掛りが無いことから、参加者全員から予め見積りを提出してもらい、その見積書を参考に予定価格を算出している。
・見積書提出時の金額と入札時の金額とが大きく異なるという案件は、過去にも何度か議論した記憶がある。過去の落札率を勘案して予定価格を算出することは可能なのか。	・歩切りについては、厳に慎むこととされている。予定価格の決定については、会計法令等に則った形で行っている。
９．車両管理業務委託	
・低入札案件であり、かつ過去の入札結果に規則性があると思われる。	・過去５年間の入札状況を見ると、この２社がほぼ毎年参加している状況で厳しい価格競争をしている。 　今年度も受注することにかなり積極的に出てきたものと推測される。
・価格競争が非常に厳しいということは、そもそも予定価格が高いのでは。	・人件費については公表されており、それに基づき適正な価格で積算している。 　平成２１年度から一般競争入札が導入されているが、落札率は５０％台が続いている。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。
今後とも、入札及び契約手続における一層の透明性・競争性の確保に留意し、入札・契約業務の適正かつ厳正な執行を行っていただきたい。

なお、要望が２点あります。
１点目は、公共事業の品質を保証しつつ、公平性及び競争性を保つために、新規参入を阻害しない配慮を今後も続けていただきたい。
２点目は、予定価格における経済効率性に配慮していただきたい。

【当局からのコメント】
ご要望いただいた２点については、引き続き透明性及び競争性を確保するよう今後とも検討を重ねて参りたい。